

**第46回九都県市合同防災訓練 各都県市会場の訓練概要
(横浜市)**

訓練目的	令和7年度の「横浜市総合防災訓練」は青葉区を会場として、市民・地域・企業その他関係団体等が一体となった実践的な実動訓練、防災関連団体による展示・体験エリアを設置しての防災啓発等を実施します。 各機関との連携をより強固なものとするとともに、市民の減災意識の高揚と、地域防災力・災害対応能力の向上を図ることを目的としています。
日時	令和7年9月28日（日） 実動訓練 9：15～11：20 展示・体験エリア 9：00～12：00
会場	谷本公園（横浜市青葉区下谷本町31番10号）
規模	参加機関（団体）：約60機関 参加人員：約3,000名（見学者含む）
想定	令和7年9月28日（日）午前9時40分、相模湾を震源とするマグニチュード8.1、横浜市内最大震度7の地震を観測。 家屋の倒壊や道路損壊、ライフライン等に甚大な被害が確認され、火災及び多数の負傷者が発生していることを想定します。
訓練項目	1 消防音楽隊によるドリル演奏 2 シェイクアウト訓練 3 住民等による避難・救出救護訓練 4 初期消火訓練 5 被災状況の情報収集、緊急交通路確保訓練 6 道路啓開訓練 7 ライフライン復旧訓練 8 救援物資輸送訓練 9 行政機関による情報収集訓練 10 救出部隊による捜索・救助訓練 11 医療救護訓練 12 火災防御訓練
訓練の特徴	1 市民参加型の訓練 訓練参加者には、発災から避難、近隣住民への声掛け、負傷者に対する応急救護、初期消火訓練など訓練を通じて体験していただきます。 展示・体験エリアでは、起震車による地震体験や防災関係機関による啓発ブースをご覧ください。 2 自助・共助の取り組み強化を目的とした防災啓発 災害に対する正しい知識や自主防災意識の向上を図るとともに、「自分の命は自分で守る」「災害弱者は地域で守る」という意識の醸成に努めます。
問合せ先	問合せ先：横浜市総務局緊急対策課 電話：045-671-2064